

平成 20 年度事務事業評価表(内部管理業務)

①事務事業名		担当部課	部課コード	020300	TEL	2998-9058
事業コード	廃棄物品処理事業	財務部 契約課				
020302			グループ	物品契約担当		

総合計画の体系	政策	第8章 計画の推進に向けて	施策	3節 行政運営	中柱	小柱		
行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
コード	事務事業見直しの推進		コード	コード				
3261								
目的(何のために行うのか、具体的に) 各課で不用となった物品を効率的かつ適正に廃棄処分するとともに、廃棄物品のうち利用可能なもの(不用物品という。)を再活用し廃棄物品の減量化を図る。								
②事業の内容	対象(誰を、何を対象としているのか)		対象数	単位	平成 18 年度	27414 件		
	各課で使用している物品				平成 19 年度	27337 件		
業務の具体的な内容及び実施方法 【事務の手順】1 契約課において、各課から廃棄物品処分の依頼を受け、内容を把握する。 2 契約課で、廃棄物品処理取扱業者を選択する。 3 廃棄物品取扱業者から見積等を徴取し、委託業務の相手方を決定する。 4 委託業者は、庁舎及び各施設等の廃棄物品を回収・処理し、業務完了の報告書を市に提出する。								
H	コストの見直し	<input type="checkbox"/> 大きい	<input type="checkbox"/> 少ない	<input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない	実施過程の見直し	<input type="checkbox"/> 大きい	<input type="checkbox"/> 少ない	<input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない
19	20年度予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり		<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 終了		
評価	平成19年度中に改善した点							
	廃棄物品の処理については、分別を徹底するよう各課に協力を求めるとともに、再利用出来るものは各課で連絡を取り合い、できる限り再利用・再使用するよう協力を求めた。							

③経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		2,754	2,871	2,770
	決算(見込み含む)		2,667	2,858	
	含む人件費(嘱託職員)(臨時職員)	(人)	(人)	(0.10 人)	
	正規職員人件費	0.42 人	3,864	0.32 人	2,980
	事業費合計		6,531	5,838	
	市民一人当たり(単位:円)		19.3	17.2	

④指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	廃棄物品年間件数	件数	件	483	382	363	202
		廃棄物品再利用件数	件数	件	64	52	51	101
	成果分析	廃棄物品年間件数のうち 廃棄物品再利用件数	廃棄物品再利用件数/廃棄物品年間件数	%	目標値			
%				実績	0.1325	0.1361		
			%	達成率			実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	

⑤一次評価	評価項目	見直しの必要性	評価理由及び対応策
	コストの見直し	<input type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 少ない <input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない	一課で集中して処理委託することから、経費削減が図られるため。
	実施過程の見直し	<input type="checkbox"/> 大きい <input checked="" type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> ほとんどない	専門業者に回収・処理を委託するほうが効率的かつ効果的であるが、不用物品の再活用について検討が必要である。
	業務を進めていくうえでの課題		
	○ 廃棄物の減量化を進めていくために、不用物品の再活用に向けた取組み方法を検討する必要がある。		
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	平成19年度より増加する 左記の率を14%に上昇させる	平成20年度末
	21年度予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	
	昨年度の評価結果及び上記評価による、今後の業務の進め方		
	○ 今後も廃棄物品の再活用について各課に周知を図り、廃棄物品の減量化を進めていく。		
	評価日	平成20年5月19日	記入者職氏名 契約課長 三上昌美

⑥環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ...	有り	計画コード	323
施策の体系	3-2資源循環の促進			
	3-2-3廃棄物の適正処理			